

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市日川溪谷緑の村			検証日	令和5年7月3日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	大村 山治	作成者名	小澤 龍司
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通				
		代表者	代表取締役 原田 孝典				
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
	指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月					
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野3番地				
		設置目的	緑豊かな自然環境の保全及び活用を通じ、広く一般に保健と休養の場を提供するとともに、産業の振興に寄与するため、日川溪谷緑の村を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	5名	開館日時間等	一日使用の場合 9:00~17:00(5月から9月) 営業時間(宿泊)15:00~10:00 (毎週水曜日・7~9月以外の第2第4火曜日・年末年始・臨時休館を除く) 冬季休館:令和4年12月1日~令和5年3月31日まで
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)緑の村施設の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。(6)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (2)緑の村施設使用料徴収に関すること。(7)備品等の維持、管理及び修理(大規模な購入及び修理は除く) (3)緑の村施設利用料の徴収事務に関すること。(8)その他施設の管理に関すること。 (4)施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。(9)業務の報告 (5)その他の日常業務					
自主事業	(1)イベントの開催 (2)広告・宣伝 (3)自社バスの活用 (4)自社ネットワークの活用 (5)付帯施設の充実						
DO	管理運営コスト推移(千円)	令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	〇〇年度(指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	0	0	0	0	
		事業収入(食堂・BBQ)	12,480	13,692	13,080	15,044	
		使用料(バンガロー、釣り堀)	5,820	5,095	5,930	6,866	
		その他収入	200	75	82	90	
		管理運営経費	19,289	18,779	19,023	21,000	
	決算	指定管理料	0	0	0	0	
		事業収入(食堂・BBQ)	13,136	6,642	12,324	10,197	
		使用料(バンガロー、釣り堀)	5,052	3,963	7,212	5,702	
		その他収入	67	1,639	1,086	0	
管理運営経費		16,444	19,278	23,241	15,993		
収支	1,812	-7,034	-2,619	-94			
減収補填		877	1,309				
施設の稼働状況	令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	〇〇年度(指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	10,005	5,818	8,003	7,284		
活動結果	新型コロナウイルス感染拡大による行動制限と、9月に2度あった3連休がともに悪天候により、企業、団体のキャンセルが続発したことにより、集客が昨年比719名減であったが、人件費の圧縮や、取扱商品の見直しによる仕入額抑制等の企業努力により、年間の赤字額を減少させることができた。						
CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1)事業の運営	2	・協定書に沿った管理運営がなされている。 ・自社路線バスや県内外の自社のネットワークを活用して、施設のPRを行い、集客に繋げていることや、売店の販売商品の見直しも行き、顧客満足度の向上に努めている。 ・集客の努力は行われているが、新型コロナウイルスの感染状況や天候等により利用者数に影響を受け、目標としていた利用人数(10,000人)や令和3年度の利用者数を下回ってしまった。令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことも加味して、引き続き、集客に努めていく必要がある。				
	(2)施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検において、異常部品等があった場合は、事故等を未然に防ぐための対応を行っている。 ・定期的にミーティングを行い職員の能力向上に努めている。 ・利用者が安心して利用できるように、新型コロナウイルスの感染予防にも取り組んでいる。				
	(3)収入支出	3	・新型コロナウイルス感染拡大や、大型連休時の悪天候により利用者数は前年比719名減となり収入も前年比に比べ4,291千円減となったが、経費削減により支出を抑え最終的に94千円の赤字ではあるが、赤字額を前年比で2,525千円抑えることができた。				
	(4)総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)				
	優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	・経費削減や、自社のホームページ、売店商品の見直し、自社路線バスを活用したPR活動等を積極的に実施しており、運営努力により年間赤字額の削減に繋がっている。 ・利用者数が目標値を下回っているため、引き続き、集客に努め、利用者の増加を目指して欲しい。				
ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応						
	当面の課題	・過去5年間の集客状況を見ると88.4%がバーベキュー・釣り事業で、9.8%が売店等のその他売り上げとなっており、宿泊は全体の集客の1.8%にとどまっている。新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きつつあるため、主力であるバーベキュー・釣りの他、若い世代に宿泊も利用してもらえるようにすること等、売り上げを増加させるための計画などを積極的に考えていく。					
課題解決への対応	・若い世代にバンガロー(宿泊)も利用してもらえるように、施設を綺麗に保つことはもとより、PRの仕方や利用者がイメージしやすい利用方法の提案をするなど、利用促進に繋がる改善策を指定管理者と施設所管課とで協力しながら考えていく。 ・施設の老朽化もあるが、適切な施設整備修繕等を行いつつ、清潔感のある施設になるようにする。						
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。 ・物価高騰や昨年度より利用者が減ったものの、経費削減に努め、収支の改善を図っていることが分かる。 ・売店商品の見直しや自社のホームページ、自社路線バス、県内外の自社のネットワークを活用したPR活動等を積極的に実施しているため、引き続き、経費削減を図りつつ集客に向けた積極的なPR活動を行っていただきたい。							